

The difference is [that the French eat together].
S V C S' V'
 They have **managed to preserve** a tradition / [that is good for everyone's health] — the family meal.
= the French 関係代名詞 同格
 Over the last two decades, / there has been a **steady decline** / in the number of American families [that eat together regularly].
there is 構文の完了形 関係代名詞

内容Check!

問 次の各文が正しければ () に○を、誤っていれば×を記入しなさい。

1. One lesson that the United States should learn from France is to eat meals together. ()
2. Statistics show that only half of all French families eat dinner together. ()
3. The number of American families that regularly eat together has increased steadily over the last 20 years. ()

覚えておきたい表現

when it comes to ~ 「～に関しては」

ℓ. 1 : **When it comes to** eating, the United States has a lesson to learn from France. 「食べることに関して言えば、アメリカ合衆国には、フランスから学ぶべき教訓がある。」

・ when it comes to ~ 「～に関しては」: ~には名詞か動名詞がくる。不定詞の to ではないので注意。

Ex. I'm not good **when it comes to** making things. 「物を作るということになると、私は得意なんです。」

・ has a lesson to learn 「フランスから学ばなくてはいけない教訓がある」: to learn は不定詞の形容詞用法で lesson を修飾している。

manage to do 「なんとか…する」

ℓ. 4 : They have **managed to preserve** a tradition that is good for everyone's health — the family meal. 「彼らは、皆の健康に良い慣習、すなわち家族そろっての食事をなんとか維持してきたのだ。」

Ex. On the day of the great earthquake, my husband **managed to get** home safely. 「大地震の日、私の夫はどうか無事に家に帰り着いた。」

according to ~ 「～(報告・調査・人)によると」

ℓ. 7 : **According to** the French government's Committee for Health Education 「フランス政府の健康教育委員会によると」

・ according to ~ 「～(報告・調査・人)によると」: 情報源をはっきりさせる表現。

Ex. **According to** the weather forecast, a hurricane is approaching the Gulf of Mexico. 「天気予報によるとハリケーンはメキシコ湾に接近中だ。」

It looks like S + V ... 「…のようだ」

ℓ. 14 : **It looks like** the family meal is disappearing. 「家族そろっての食事が、なくなりつつあるようだ。」

・ この like は接続詞で、「～であるかのように」という意味。接続詞の like は、behave や feel などの動詞と一緒に用いられる。

Ex. **It looks like** she loves chocolate bars. 「彼女はチョコバーが大好きなようだ。」

整理しよう! *段落要旨・構造*

1 アメリカとフランスの食習慣の対比

食事について、アメリカはフランスに学ぶべき教訓がある。

・ その教訓: フランス人は家族で食事をする。→ アメリカとの違い

2 フランスの食習慣の統計

フランス人の75%が家族で食事をしている。→ 学童の多くが昼ごはんを食べに学校から家に帰る。

3 アメリカの食習慣の統計

フランス: 家族と一緒に食事をとる傾向は数十年間変わっていない。



◆ ℓ. 11 on the other hand 「他方: 対比」

アメリカ: 家族で日常的に食事をするのは3分の1の家庭のみ。

・ 過去20年アメリカでは、家族で食事をとる家は減り続け、その習慣がなくなりつつあるようだ。

背景知識

●日本における、家族と一緒に食事をする事の減少

家族が食事を共にする機会が減っているという現象は、今日では日本でも一般化している。厚生労働省雇用均等・児童家庭局が平成16年2月に発布した食育レポート『食から始まる健やかガイド』によると、夕食だけを見ても、「毎日家族で夕食を一緒にとる」家庭は1986(昭和61)年には全体の36.5%あったものが、2001(平成13)年には31.6%に減少している。これが朝食となると、父親の約3割は家族と食事をしていないとされる。さらに、家族が全員で食事を共にしないことに加えて、子供が1人きりで食事をする人が多くなってきており、これを指す「孤食」という言葉も生まれた。「孤食」が増加している背景には、会社勤めの父親が夕食時に間に合うよう帰宅できなくなっていることはもちろん、近年の傾向として、子供の塾通いやクラブ活動が盛んとなっていることも原因であるとされる。こうした傾向に警鐘を鳴らすべく、集団、特に家族で食事をとる「共食」のメリットを指摘する声も多い。「共食」では、食事の品数が増えるため栄養バランスがよくなること、家族と一緒に楽しく食事をするということによって、子供が他人への思いやりの心を育てることができるとなどが強調されている。

【深めたい人に】: NHK放送文化研究所世論調査部編『崩食と放食 — NHK 日本人の食生活調査から』(NHK出版、2006年)、『食から始まる健やかガイド』(厚生労働省雇用均等・児童家庭局、平成16年2月; <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/02/dl/s0219-3a.pdf> から閲覧可能。)